

日本学術会議 生活習慣病対策分科会（25期・第4回）議事録

日時 令和5年9月25日（月）18：00～19：50

場所 ビデオ会議（zoom）

出席者：磯 博康（副委員長）、宮地元彦、安村誠司、秋葉澄伯、浅野みどり、池田彩子、
小熊祐子（幹事）、郡山千早（幹事、記録）、児玉浩子、中山健夫、八谷 寛（委員長）

欠席： 井上真奈美、錦織 宏、永田知里、那須民江

議題に先立ち、

- 1) 前回の議事録の確認を行った。
- 2) 八谷委員長より令和5年9月15日に報告「初等中等教育におけるリスク教育の推進」が公表されたとの説明があり、7つの分科会の執筆WGに本分科会から参加した郡山委員より、本報告作成の経緯報告と分科会委員への謝辞があった。

議題

1. 多職種が連携した生活習慣病予防に資する卒前・卒後教育のあり方について

八谷委員長より、各委員から情報提供のあった、各種医療保健専門職養成課程におけるモデルコアカリキュラムの生活習慣病予防に関する項目を中心に説明があり、専門職種の特徴的な学修内容を含めながらも、いずれにおいても「公衆衛生」「疾病予防」「生活習慣病予防」などの共通項をキーワードとしたカリキュラム内容となっていることを確認した。また、現任教育（卒後教育）として学会の役割（ガイドライン作成、資格認定など）や環境改善などについて説明があった。本分科会が来期も設置されることとなった場合には、表記内容について、報告または見解などを見据えた意見の表出を行うべく、意見交換が行われた。

最後に八谷委員長より挨拶があり、今期の活動内容についての謝辞と来期に向けての協力依頼があった。